

メディア基盤センター年報(2006年度) より

1. 巻頭言(センター長)

2006年度、メディア基盤センターは日常業務(ネットワークの維持管理、各種サービスの提供、窓口業務等)以外に、主として以下のような活動を行ってきた。

- 1) センター活動の透明化:業務・試行・開発・研究等のセンタープロジェクトへの登録
- 2) 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の構築&認証取得に向けた取り組み**
- 3) 情報セキュリティ講習会の開催(セキュリティ委員会との共催)
- 4) 迷惑メール対策の試行
- 5) ネットワーク課金制度の変更
- 6) 2007年4月機器更新(教育用計算機システム)に向けた仕様策定支援
- 7) センターの広報改善プロジェクトの推進(HPの改定等)
- 8) 講義室等のネットワーク高セキュリティ化推進
- 9) 大学情報プリンタ(オンデマンド課金プリンタ)の導入
- 10) デジタルコンテンツプロジェクト

この中で2006年度の目玉となったプロジェクトは、2) ISMSの構築&認証取得に向けた取り組み、4) 迷惑メール対策の試行、及び5) ネットワーク課金制度の変更である。

2) ISMS構築&認証取得の取り組みは、2005年度より前センター長及び大学執行部の強い意向により始められ、大学全体の危機管理・リスク管理の一環として、特に情報セキュリティ管理の推進においてメディア基盤センターが先陣的な役割を果たすべくスタートしている。2005年度は、静岡大学の先進的な取り組みなど他大学の構築事例等の調査や、ISMSに関する職員研修、準備ワーキングの設置など準備が進められていた。

2006年度は、ISMSのセンターの主要なプロジェクトとして位置づけ、2008年度認証取得(ISO27001) & 運用に向けて以下のような活動を実施した。

- ・ISMS構築プロジェクトの発足(2006年7月:予算確保)
- ・ISMS事務局の発足(2006年9月:従来の準備WGを解散し新体制を発足)
- ・ISMS取得に向けたコンサルティング会社の企画競争公募の実施(2006年12月)
- ・コンサルティング会社(ITSC社)の選定(2007年1月)
- ・ISMSコンサルティングの開始(2007年3月:二日間の予備調査)

2007年度も引き続き、ITSC社のコンサルティングを受けながら、ISMS適用範囲の設定、ISMS基本方針の策定、ISMSマニュアルの策定、情報資産の洗い出し&整理、各種マニュアル等の文書作成&文書管理、等を進めている。

4. 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の構築 (担当・三池)

巻頭言でも述べたように、ISMS構築&認証取得への取り組み(資料1)は、大学全体の危機管理・リスク管理の一環として、特に情報セキュリティ管理の推進においてメディア基盤センターが先陣的な役割を果たすべく2005年度にスタートしている。2005年度は、静岡大学の先進的な取り組みなど他大学の構築事例等の調査や、ISMSに関する職員研修、準備ワークキングの設置など準備が進められていた。

2006年度からは、ISMS構築をセンターの主要なプロジェクトとして位置づけ、2008年度認証取得 (ISO27001) & 運用に向けて以下のような活動を実施した。

- 1) ISMS構築プロジェクトの発足 (2006年7月: 予算確保)
- 2) ISMS事務局の発足 (2006年9月: 従来の準備WGを解散し新体制を発足)
- 3) ISMS取得に向けたコンサルティング会社の企画競争公募の実施 (2006年12月)
- 4) コンサルティング会社 (ITSC社) の選定 (2007年1月)
- 5) ITSC社によるISMSコンサルティングの開始 (2007年3月: 二日間の予備調査)

2007年度も引き続き、ITSC社 (静岡大ベンチャー) のコンサルティングを受けながら、

- ・ISMS適用範囲の設定、
 - ・ISMS基本方針の策定、
 - ・ISMSマニュアルの策定、
 - ・情報資産の洗い出し・整理、
 - ・各種マニュアル等の文書作成 & 文書管理、
 - ・各情報資産のリスクアセスメント、
 - ・ISMS内部監査人の養成、
- 等を一歩ずつ進めている。